國民學校令等戰時特例外三件第二回審査委員會

昭和十九年一月十二日(水曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

原議長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮　顧問官
林　顧問官
深井顧問官
二上顧問官
眞野顧問官
三土顧問官

國務大臣
岡部文部大臣

説明員
森山法制局長官
入江法制局參事官
荒木法制局參事官
菊池文部次官
藤野文部省總務局長
永井文部省專門教育局長
阿原文部省國民教育局長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

伊藤文部書記官
西崎文部書記官
稻田文部書記官
里見文部書記官
福田文部事務官
竹内内務省管理局長
新居内務省地方局長
水野内務省地方局事務官
松尾大東亞省滿洲事務局總務課長
腰原大東亞省滿洲事務局事務官

本多朝鮮總督府書記官
西村臺灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長
堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

（午前十時四十分開會）

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

岡部文部大臣ヨリ追加附託案三件ノ大綱ニ付、菊池文部次官ヨリ其ノ内容ニ付夫々説明アリ、次デ審査委員長ハ青年學校教育費ノ負擔ニ關スル法律案及勅令案二件ノ討議ニ入ル旨ヲ宣ブ

南委員ヨリ簡單ナル質問アリタルニ對シ菊池文部次官ヨリ答辯アリ

菅原委員ヨリ國庫補助ト國庫負擔ノ相違ハ他ニ負擔者ノ定メアルト否トニ係ルモノナリトシ義務教育費國庫負擔法ハ市町村ニ對スル關係ニ於テ國庫補助法ナルヲ要ストシ當局ノ所見ヲ求メ岡部文部大臣ヨリ研究ノ要アリト思料スルモ今回ハ當面ノ必要ニ應ズル過渡的改正ニ止メ之ニ觸レザリシ旨答辯アリ

潮委員ヨリ樺太ニ於ケル國民學校職員ノ俸給等ノ負擔ヲ國費トスルハ樺太ニ地方費ナキヲ理由トスルモノナリトセバ文部當局ハ樺太ニ地方費ノ設定セラルルヲ利便トスルヤ否又内務當局ハ樺太ニ地方費設置ノ考慮アリヤ否ヲ問ヒ菊池文部次官ヨリ地方費ノ存在ヲ利便ト

思料スル旨、新居地方局長ヨリ地方費ノ設定ニ付テハ目下研究中ニシテ未ダ結論ニ達セザル旨夫々答辯アリ

二上委員ヨリ法律案第一條中ノ市町村ハ樺太市町村ヲ含ムヤ否ヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ文字上ハ含ムガ如キモ法ノ前提タル負擔勅令ノ内容ニ照シ内地ノ市町村ヲ指スコトトナリ尚樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律ニ基キ別段本法ヲ樺太ニ施行スルコトヲ定メザルガ故ニ實際上問題ヲ生ズル餘地ナキ旨説明アリ

三土委員ヨリ青年學校職員ノ俸給等ノ爲ノ國庫經費ガ補充費途ト爲ルコトニ依リ國庫ノ負擔ハ漸次增加スベシト爲シ當局ノ所見ヲ求メ菊池文部次官ヨリ俸給等ニ付テハ大體ノ標準及限度ヲ示シ之ガ經費ノ徒ニ厖大トナルヲ防止スベキ旨説明アリ

委員長以上ヲ以テ右二件ノ質問終了ト認メ休憩ヲ宣ス

（休憩午前十一時五十分乃至午後一時四十分）

委員長開會ヲ宣シ國民學校令等戰時特例外一

件ヲ議題ニ供ス

清水委員ヨリ現行私立學校令第十二條所定ノ訴願ハ今回ノ非常措置ニ對シテモ認メラルルヤヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ今回ノ措置ハ戰時的非常措置ニシテ之ニ對シ訴願ハ之ヲ認メザル旨答辯アリ

南(弘)委員ヨリ

(一)青年學校教員ノ養成ハ現存ノ師範學校ニ於テ爲サシメ青年師範學校ハ之ヲ特置スルヲ要セザルベシトシ岡部文部大臣及菊池文部次官ヨリ國民學校教員ノ擔任ハ全教科ニ亘ルニ反シ青年學校教員ノ擔任ハ職業科又ハ家庭科ヲ主トスルモノナルガ故ニ其ノ養成ノ方法ニ於テ趣ヲ異ニスルノミナラズ現在ノ官立師範學校ハ規模複雜ナルガ故ニ之ヲシテ更ニ青年學校教員ノ養成ニ當ラシムルハ不適當ナリト思料セラルル旨

(二)工員ノ高賃銀ニ伴フ青年風教ノ趨向ニ鑑ミ教育上ノ見地ヨリ徵兵年齡ハ寧ロ之ヲ二年低下シ滿十八オヨリトスルヲ可トスベシ

トシ岡部文部大臣ヨリ軍及生産ノ事情ニ即シ此ノ際ハ一年低下ニ止マリタル旨

(三)教員養成ノ學校ノ在學生ニ對スル入營ノ時期ヲ問ヒ岡部文部大臣ヨリ理工科系ノモノト同樣延期ノ措置ヲ講ジツツアル旨尚文理科大學ハ大學令ノ規程ニ基クモノナルモ實際上其ノ卒業生ハ概ネ教員ト爲ルモノナルガ故ニ之ガ入營延期ヲ認メ永井文部省專門教育局長ヨリ音樂學校及美術學校ノ師範科在學生ハ軍ノ要員取得上ノ見地ヨリ入營延期ノ措置ヲ講ゼザル旨

(四)義務教育八年制ノ施行延期ニ關シ教育上ノ見地ノ外經濟上ノ見地ニ鑑ミ並ニ戰後ニ於ケル社會ノ情勢ニ察シ根本的ニ之ヲ改正スルノ意圖ナキカ問ヒ岡部文部大臣ヨリ研究ノ要アリト認ムルモ今日直ニ之ヲ根本的ニ改正スルノ意圖ヲ有セザル旨夫々答辯アリ

鈴木審査委員長本日ハ之迄トシ政府諸員退席ノ後青年學校教育費ノ負担ニ關スル法律案及

勅令案ノ二件ハ政府側ニ於ケル急施ノ希望ニ基キ他ノ二件ニ先ダチ審査ノ結果ヲ報告スベキコトヲ諮リ全會一致原案可決ニ決シタル後閉會ヲ宣ス

（午後四時二十分閉會）

國民學校令等戰時特例外一件第三回審査委員會

昭和十九年一月十三日（木曜日）本院事務所ニ於テ開會

出席者

審査委員長　原議長

審査委員　鈴木副議長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮顧問官
林顧問官
深井顧問官
二上顧問官
眞野顧問官
三土顧問官

國務大臣
岡部文部大臣

説明員
森山法制局長官
入江法制局參事官
荒木法制局參事官
竹内内務省管理局長
菊池文部次官
藤野文部省總務局長
永井文部省專門教育局長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

阿原文部省國民教育局長
伊藤文部書記官
西崎文部書記官
稻田文部書記官
里見文部書記官
福田文部書記官
腰原大東亞省滿洲事務局事務官
本多朝鮮總督府書記官
西村台灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長

（午後一時三十五分開會）

堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

南（弘）委員ヨリ

（一）大學ノ統合ニ關スル數次ノ閣議決定ニ變遷アル點ヲ指摘シ其ノ所以ヲ問ヒ岡部文部

大臣ヨリ統合案ノ具體化スルニ伴ヒ或ル程度考方ニ變更ヲ要シタルニ因ル旨

(二)特例第七條ノ規定ヲ存スルハ學校當局ヲ徒ニ危惧セシメ教育上ニ有害ナル影響アリトシ岡部文部大臣ヨリ實際ノ運用ニ當リテハ努メテ勸誘ニ依ル自發的所爲ニ俟チ本條ノ發動ハ極力之ヲ避クベキ旨

(三)學校ノ整備ニ關シ質シタル後戰時ノ措置ハ飽ク迄モ臨時ノ措置トシ之ヲ以テ悠久ナル國運ノ進展ヲ目途トスル經常的措置トシテ目セザル樣希望シ之ニ對スル當局ノ所見ヲ求メ岡部文部大臣ヨリ學校ノ整備ハ固ヨリ戰時ノ必要ニ應ゼシメントスルモノナルガ同時ニ國家將來ノ點ヲモ考慮ニ入レタルモノニシテ臨時措置モ亦恒久的措置ニ變換スルコトナキニ非ザルベキ旨夫々答辯アリ

鈴木審査委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

(午後四時十分閉會)

國民學校令等戰時特例外一件第四回審査委員會

昭和十九年一月十四日（金曜日）本院事務所ニ於テ開會

出席者

審査委員長　原議長

審査委員　鈴木副議長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

國務大臣

岡部文部大臣

説明員

森山法制局長官

入江法制局參事官

荒木法制局參事官

菊池文部次官

永井文部省專門教育局長

伊藤文部書記官

西崎文部書記官

清水顧問官

南(弘)顧問官

菅原顧問官

松浦顧問官

潮顧問官

林顧問官

深井顧問官

二上顧問官

眞野顧問官

三上顧問官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

稲田文部書記官
里見文部書記官
福田文部書記官
辻田文部書記官
竹内内務省管理局長
腰原大東亞省滿洲事務局事務官
本多朝鮮總督府書記官
西村臺灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長

堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

（午後一時三十五分開會）

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

菅原委員ヨリ國民學校ニ關スル市町村ノ設置、義務其ノ他ニ付質問アリタルニ對シ岡部文部大臣及菊池文部次官ヨリ答辯アリ

松浦委員ヨリ

(一)勤勞ニ從事セル青年學校生徒ニ對シテ教育効果ヲ發揮セシムルノ方途ヲ問ヒ菊池文部次官ヨリ坐學上職域勤勞トノ兩面ニ於テ指導ニ努メ教育上缺陷ヲ來サザル樣留意スベキ旨

(二)特例第七條ノ事項ヲ勅令ノ根據ニ依テ行フコトニ關シ政府ノ所見ヲ求メ森山法制局長官ヨリ學校制度ニ關スル法規ハ憲法上ノ立法事項ニ屬セズ現ニ同制度ハ總テ勅令ヲ根據トシ從テ學校ニ對スル處分モ亦勅令ヲ以テ爲シ得ベク法律ヲ要セザルモノト解スル旨夫々答辯アリ

鈴木審査委員長本日ハ之迄トシ閉會ヲ宣ス

(午後四時十分閉會)

# 國民學校令等戰時特例外一件第五回審査委員會

昭和十九年一月十五日(土曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

原　議長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

審査委員

三土顧問官

國務大臣

岡部文部大臣

説明員

森山法制局長官

入江法制局參事官

荒木法制局參事官

菊池文部次官

藤野文部省總務局長

関席者

清水顧問官

南(弘)顧問官

菅原顧問官

松浦顧問官

潮　顧問官

林　顧問官

深井顧問官

二上顧問官

眞野顧問官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

永井文部省專門教育局長
阿原文部省國民教育局長
伊藤文部書記官
稻田文部書記官
里見文部書記官
福田文部書記官
辻田文部書記官
竹内内務省管理局長
腰原大東亞省滿洲事務局事務官
本田朝鮮總督府書記官

西村臺灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長
堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

（午前十時十分開會）

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

潮委員ヨリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(一)法文系大學樸滅論乃至輕視論ノ横行ニ伴ヒ法文系志望者ノ質ノ低下ヲ來スベク法文系學問ノ將來ニ對シ危惧ノ念ナキ能ハズトシ當局ノ所見ヲ求メ岡部文部大臣ヨリ文部當局トシテハ法文系輕視ノ誤解ナキ樣極力盡力シツツアルモ尚正史ノ編纂等ニ由リ精神文化方面ノ重要ナルコトニ付世人ノ關心ヲ蒐メンコトヲ期シタル旨

(二)青年學校教員養成所ハ其ノ組織概ネ貧弱且區々ニ亘リ未ダ發達ノ過程ニ在ルモノト認メラレ之ヲ一學官立トシ專門學校程度ニ昇格セシムルハ時期尚早ナルベク青年師範部トシテ師範學校ニ併置スルヲ現下相當ノ階梯トスベシトシ岡部文部大臣及菊池文部次官ヨリ義務教育タル青年學校教育ノ成果ヲ發揮セシムルニハ之ニ優秀ナル教員ヲ招致スルヲ要シ之ガ爲ニハ先ヅ養成機關ノ整備ヲ必要トス而シテ國民學校ト青年學校ハ教育ノ對象從テ其ノ内容方法著シク相違スルノミナラズ師範學校ハ既ニ規模構造ニ於

テ複雜、學校長ノ責任亦過重ナルガ故ニ別箇ニ青年師範學校ヲ設置スルノ外ナキ旨、

（休憩午後零時五分乃至同一時四十分）

（三）特例第七條第二項ノ補助金ハ同條ノ事柄ニ鑑ミ定率ノモノトシ豫算上補充費途ト爲スヲ可トスベシトシ菊池文部次官ヨリ政府トシテハ本案ノ運用ニ於テ齟齬ヲ來サザル樣努ムル旨夫々答辯アリ

林委員ヨリ特例第七條ニ關シ

（一）本案ノ措置ニ關スル法制上ノ權限根據ヲ問ヒ菊池文部次官ヨリ中等學校令第三條第二項ノ規定ヲ存スル外總テ本令ニ依リ新ニ權限ヲ賦與セラルベキ旨、森山法制局長官ヨリ學校ハ特許企業トシテ國家ト特別ノ命令服從ノ關係ニ在リ此ノ意味ニ於テ既ニ監督規定ヲ存スルモ本令ハ大東亞戰爭ニ即應スル監督規定ヲ新ニ補充セントスルモノナル旨、

（二）第一項中「特ニ必要アリト認ムルトキ」ノ意義ヲ問ヒ濫用ノ虞ナキカヲ訊シ岡部文部大

臣及菊池文部次官ヨリ第一條ノ目的達成上ノ見地ヨリ必要如何ヲ決スベク本案ノ運用ハ眞ニ已ムヲ得ザル場合ニ限ルベキ旨

(三)「整理及統合」ノ意義如何ヲ問ヒ大學令第六條本文ノ法人タル大學ニ對スル關係ヲ訊シ菊池文部次官ヨリ「整理」ハ學校ノ廢止及人的物的設備ノ縮少ヲ意味スル旨、「統合」ハ二以上ノ學校ヲ合併(吸收合併ヲ含ム)スル場合ヲ謂フ旨、森山法制局長官ヨリ法人ノ合併ニ付テハ法律ノ根據ヲ要スルガ故ニ學校自體ガ財團法人タルモノニ付テハ本令ヲ以テ統合ヲ命ズルコト能ハズ但ダ財團法人ニ依リ經營セラルル學校ニ付テノミ本案ノ措置ヲ講ゼラルベキ旨而シテ菊池文部次官ヨリ學校自體ガ財團法人ナルモノハ現存セズト認ムル旨

(四)命令ト學校當局ノ處置殊ニ學校ガ法人タル場合ニ於ケル寄附行爲トノ關係ヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ本案ノ命令ハ所謂下命行爲ニシテ形成行爲ニ非ズ從テ命令ヲ爲シタ

ル上ハ學校ノ申請ニ俟チ學校ガ之ニ違反シタルトキハ私立學校令第十條等ノ關係規定ニ依リ處分セラルベキ旨但シ右命令ガ當該學校ニ關ル寄附行爲ニ抵觸シ而モ寄附行爲中ニ變更ニ關スル特別ノ定ナキ場合ニ於テハ學校自體之ヲ變更シ得ザルガ故ニ畢竟不能命令ニ帰スノ外ナキ旨

(五)本條第一項第一號又ハ第二號ノ大學又ハ學部ノ設置廢止ニ係ル命令ニ對シ改メテ大學令第八條所定ノ認可申請ヲ爲サシメ殊ニ

其ノ際ニ於テ勅裁ヲ仰グハ不合理ナリトシ當局ノ所信ヲ訊シ森山法制局長官ヨリ右ノ命令ハ形成處分ニ非ザルガ故ニ下命事項ノ實踐ニ當リ他ノ經常恒久規定ニ定メラレタル手續アラバ其ノ所定手續ヲ經ルヲ要スベク即チ大學ハ下命ニ應ジ適當ナル方策ヲ樹テテ認可ヲ申請シ勅裁ニ係ル認可ヲ俟チテ始メテ茲ニ効力ヲ確定スル旨夫々答辯アリ」

鈴木審査委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

（午後四時三十分閉會）

# 國民學校令等戰時特例外一件第六回審査委員會

昭和十九年一月十七日（月曜日）本院事務所ニ於テ開會

出席者

原議長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

闕席者

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮　顧問官
林　顧問官
深井顧問官
二上顧問官
眞野顧問官

審査委員

三土顧問官

國務大臣

岡部文部大臣

説明員

森山法制局長官
入江法制局參事官
荒木法制局參事官
竹内内務省管理局長
菊池文部次官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

藤野文部省總務局長
永井文部省專門教育局長
阿原文部省國民教育局長
伊藤文部書記官
稻田文部書記官
福田文部書記官
腰原大東亞省滿洲事務局事務官
松尾大東亞省滿洲事務局總務課長
本多朝鮮總督府書記官
西村臺灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長
堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

（午前十時十分開會）

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

林委員ヨリ特例第七條ニ關シ

（一）第一項第一號ノ統合ニ付テノ命令ハ具體

的ノ命令ナリヤ果シテ然ラバ之ガ方針基準如何ヲ問ヒ岡部文部大臣ヨリ教育ノ實ヲ揚グルノ見地ヨリ實際上ノ話合ニ基キ必要ニ應ジテ命令ヲ發セントスルモノニシテ豫メ基準ヲ定ムルコト難ク之ガ爲諮問機關ヲ設クル等運營上遺憾ナキヲ期スル旨

(二)第一項第二號ニ關シ學部學科等ノ轉換命令アリタル際學校經營ノ法人ニ於テ寄附行爲ノ變更ニ關スル寄附行爲所定ノ手續ニ於テ議決機關ノ決議ヲ必要トスル際竟ニ命令ニ即シタル決議ヲ得ラレズ從テ寄附行爲ヲ變更シ得ザルトキハ法律上命令ノ實踐不能トナルノ虞ナキカヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ法人經營ノ學校ガ現在ノ狀態ニ於テ存在スルハ國家ノ欲セザル所ナリトシ政府ノ命令アリタル以上ハ之ニ即シタル決議ヲ爲スガ當然ナルガ若シ之ニ應ズル決議ヲ爲サザルトキハ即チ國家ノ要請ニ合致セザルモノニシテ私立學校ニ關スル限リ私立學校令第十條ニ依リ學校ノ閉鎖ヲ命ズルコトヲ得ベ

キ旨

(三)第一項第三號ニ關シ夜學ニ對スル當局ノ方針ヲ問ヒ岡部文部大臣ヨリ夜學ハ教育ノ部面上完全ナリト考ヘラレザルモ其ノ學生ノ向學精神ハ尊重スベキガ故ニ之ヲ全然廢止スルガ如キコトハ考慮セズ但ダ專門學校ノ定員變更ニ應ジ夜學ノ定員モ減少セラルベク實際上ニ於テモ晝間勤勞ノ激化ニ伴ヒ夜學ノ就學者減少スルニ至ルベキ旨

(四)同項第四號ニ關シ委託セラルベキ授業ノ意義ヲ問ヒ永井文部省專門教育局長ヨリ授業トハ高等學校規程ニ示ス所ノ如ク教授及修錬ヲ意味スルモノナル旨

(五)第五號ノ意味ヲ問ヒ所有權少クモ使用權ヲ制限スル行政處分ハ法律ヲ要スルニ非ズヤヲ訊シ菊池文部次官ヨリ同號ハ學校ノ移轉ヲ意味スル旨、森山法制局長官ヨリ所有權ノ制限其ノコトヲ目的トスル處分ハ法律上ノ根據ヲ要スルモ行政ノ結果間接ニ所有權ニ制限ヲ及スガ如キハ現ニ多クノ實例ヲ存

シ憲法上謂フ所ノ所有權ノ制限ニ該ラズ第五號ノ變更モ間接ニハ所有權ノ制限ニ關係アルモ所有權ノ制限ソノモノヲ目的トスルモノニ非ズシテ單ニ教育上ノ處分ニ附隨スルモノナルガ故ニ法律ヲ以テスルヲ要セズト解スル旨

（休憩午前十時五十分乃至午後一時四十分此ノ間岡部文部大臣ヨリ本案ノ由來リタル經過ニ付説明アリ）

（六）本案ノ廢止統合ノ命令ハ只他ノ法人ガ學校ヲ經營スルモノニ對シテノミ爲サレ學校自身ガ財團法人ナル場合ハ生存ヲ一切ハ民法ノ定ムル所ニ係リ從テ本案ノ對象ト爲ラザル以上之ヲ規定ノ上ニ明カナラシムベシトシ當局ノ所見ヲ求メ森山法制局長官ヨリ本條ヲ以テ財團法人タル學校ノ廢止統合ヲ律スルコト能ハザルモ本條ハ監督官廳ノ處分タルニ過ギザルガ故ニ右ノ趣旨ハ謂ハズシテ明カナリト思料スル旨

（七）本條ノ處分ニシテ其ノ重キモノニ付テハ私立學校令第十二條ニ認ムル所ノ如ク不服ノ

途ヲ開キ然ラズンバ處分ノ手續ヲ更ニ愼重ナラシムベシトシ森山法制局長官ヨリ現在教育令關係ニ於テ訴願ヲ認メタルハ私立學校ノ閉鎖及國民學校令第二十二條所定ノ國民學校教員免許狀等ノ褫奪處分ニ關スルモノニシテ事案ハ標準明確ナルガ故ニ支障ナキモ本條ハ統制法令ニ基ク處分ニ對スル場合ト類似シ基準甚ダ不明確ナルノミナラズ戰爭中不必要ナル訴願訴訟ハ新ニ其ノ途ヲ認メザルノ方針ニ即シ之ガ不服ノ途ヲ講ゼザリシ旨

(八)本條ハ廣大無比ノ權限ヲ監督官廳ニ與ヘントスルモノニシテ文教ノ本質ニ鑑ミ適當ナラザルノミナラズ濫用ノ虞アリトシ少クモ大學ニ付テハ專ラ當事者ノ自發的諒合ニ任スベシトシ當局ノ考慮ヲ求メ岡部文部大臣ヨリ本條ナキニ至ラシメバ實際上公私立ノ學校在學生ヲ徵用ニ關シ一般ト同列ニ置クノ外ナキニ至ルノ虞アル旨森山法制局長官ヨリ本案ノ目的ヲ達スルニハ特別ノ規定

ノ存在ヲ必要トシ本條ハ之ガ為設ケラレタルモノナルガ之ガ運用ハ眞ニ必要已ムヲ得ザル場合ニ限ルベキ旨夫々答辯アリ

鈴木審査委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

（午後四時二十分閉會）

# 國民學校令等戰時特例外一件第七回審査委員會

昭和十九年一月十八日（火曜日）本院事務所ニ於テ開會

出席者

審査委員長　原議長

審査委員　鈴木副議長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

閲席者

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮　顧問官
林　顧問官
深井顧問官
二上顧問官
眞野顧問官

審査委員

三土顧問官

國務大臣

岡部文部大臣

説明員

森山法制局長官
入江法制局參事官
荒木法制局參事官
菊池文部次官
藤野文部省總務局長

福岡県立図書館
密密密密密密
院院院院院院

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

永井文部省專門教育局長
阿原文部省國民教育局長
伊藤文部書記官
稻田文部書記官
里見文部書記官
福田文部書記官
腰原大東亞省滿洲事務局事務官
松尾大東亞省滿洲事務局總務課長
本多朝鮮總督府書記官
西村臺灣總督府文教局長

堀池關東局在滿教務部長
堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

（午後一時五分開會）

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

深井委員ヨリ高等學校等ニ於ケル外國語ノ取扱其ノ他ヲ問ヒ永井文部省專門教育局長ヨリ

各學校ニ付教育内容ノ刷新ヲ企圖シツツアルモ外國語ハ之ヲ輕視セズタヾ復修ノ重点ヲ必要方面ニ移行セシムベキ旨等説明アリ

二上委員ヨリ特例第七條ニ關シ

(一)第一項中「特ニ必要アリト認ムルトキ」トハ教育上ノ必要ナリヤ否ヲ訊シ岡部文部大臣及森山法制局長官ヨリ遠因ヲ爲スモノハ防空、勞務等教育以外ニ在リトスルモ畢竟時局即應ノ教育體制ヲ整備スルノ必要ニ基キ即チ教育上ノ見地ヨリ之ヲ認定スルモノナル旨、

(二)財産上ノ負擔ヲ科シ積極的行爲ヲ爲サシムルヲ内容トスル事項ヲ法律ニ依ラズ勅令ヲ以テ命ズルハ不適當ナリトシ當局ノ所信ヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ政府ハ法規ヲ定ムルモノト雖憲法上ノ法律事項以外ハ憲法第九條ノ勅令ヲ以テスルヲ得ベシトノ見地ニ立ツモノニシテ但ダ立法政策上ノ見地ヨリ法律ヲ以テスルモ差支ナク而シテ一旦法律ヲ以テ定メタル以上勅令ノ之ニ立入ルコ

トヲ得ザルノミ本條第一項ハ斯ル見地ヨリ
國民學校令中就學義務ヲ定メタル第八條ノ
規定ト同樣法律ニ依ラザリシ部分ヲ含ムモ
ノニシテ之ガ爲財産上ノ負擔ヲ科シタル際
ハ同條第二項ノ補助金交付ノ措置ヲ執リ以
テ適法ニシテ適當ナルヲ期シタル旨(之ニ對
シ二上委員ヨリ國民學校令第八條ノ規定ハ
親權者又ハ後見人ノ教育義務ヲ定メタル民
法第八百七十九條又ハ同第九百二十一條ノ
細別施行令ト解セラルベキ旨所見ノ開陳ア
リ)

(三)大學令第六條ニ所謂「私立大學ハ財團法人
タルコトヲ要ス」トハ大學即法人タルコトヲ
强調スルモノニ非ズシテ單ニ經營上一法人
一大學タルコトヲ原則トスルコトヲ示シ但
ダ數箇ノ學校ト併セ之ヲ經營スルコトヲ得
ル旨ノ例外ヲ認メタルモノニ過ギザルコト
大正七年同令ノ本院御諮詢ノ際ニ於ケル修
正ノ趣旨ニ鑑ミ明カナリ即チ何レノ場合ト
雖法人ト學校ノ實體トハ別箇ノ存在ヲ爲シ

法人ガ學校ヲ事業トシテ行フニ異ナル所ナシ果シテ然ラバ本案ノ第一項第一號ハ右ノ兩者ニ付區別ナク適用セラレ法人トノ關係ニ付テハ此ノ命令ニ由リ其ノ目的不能トナルヤ否ニ因リ民法上ノ規定ニ基キ解散ノ事由ヲ生ズベキモノナリトシ當局ノ所見ヲ求メ森山法制局長官ヨリ大學即法人ノ存在ハ大學令第六條ノ文理上之ヲ認メザルヲ得ザルモ現實ニハ存在セズト思料スル旨夫々答辯アリ

鈴木審査委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

（午後四時十五分閉會）

# 國民學校令等戰時特例外一件第八回審査委員會

昭和十九年一月十九日(水曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

審査委員長　原議長

審査委員　鈴木副議長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

閲席者

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮　顧問官
林　顧問官
深井顧問官
二上顧問官
真野顧問官

審査委員

三土顧問官

國務大臣

岡部文部大臣

説明員

森山法制局長官
入江法制局參事官
荒木法制局參事官
菊池文部次官
藤野文部省總務局長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

永井文部省專門教育局長
伊藤文部書記官
福田文部書記官
松尾大東亞省滿洲事務局總務課長
本多朝鮮總督府書記官
西村臺灣總督府文教局長
堀池關東局在滿教務部長
堀江書記官長
諸橋書記官

（午後一時三十五分開會）

高辻書記官

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

二上委員ヨリ

（一）特例第七條ノ命令ニ對シ訴願ノ途ヲ開カザル趣旨ヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ訴願訴訟ハ之ヲ擴張セザル方針ニ則シ且第七條ノ措置ハ教育政策上ノ一環トシテ行ハルルモノニシテ其ノ個々ノ所爲ニ訴願ヲ許スハ全

體ノ調和ヲ亂サルル虞アルニ由ル旨

(二)戰時ニ於ケル生産戰ニ鑑ミ青年學校ノ義務制ハ之ヲ廢止シ從テ青年師範學校案ハ之ヲ撤回スルヲ可トスベシトシ岡部文部大臣ヨリ作業能率ノ增加及軍豫備教育ノ實施上青年學校義務制ハ之ヲ存置スルノ必要アル旨

(三)教育ノ實質ニ關スル時局對策殊ニ思想對策ヲ問ヒ岡部文部大臣ヨリ教育ノ内容ヲ時局ニ即シテ刷新ヲ加フル外政府ハ曩ニ閣議ニ於テ思想對策ヲ決定シ諸般ノ施策ヲ實施シ目下之ガ爲ノ豫算ヲ今期議會ニ提出シツツアル旨夫々答辯アリ

眞野委員ヨリ實業學校ノ尊重、優秀ナル勤勞青年ニ對スル短期講習ノ實施、夜學又ハ通信教授ノ奬勵等ニ付希望ヲ述ベ併セテ當局ノ所見ヲ求メ岡部文部大臣ヨリ答辯アリ

次デ岡部文部大臣ヨリ特例第七條ノ措置ニ付テハ愼重事ニ當リ特ニ之ガ爲委員會ヲ設ケ重要事項ヲ諮問スベキ旨ノ言明アリ

菅原委員ヨリ右諮問委員會ノ構成ニ付希望ノ表明アリ

二上委員ヨリ其ノ權限事項及之ガ官制御諮詢ノ有無ニ付質問シ岡部文部大臣及森山法制局長官ヨリ大學及學部ノ設置廢止ニ付諮問セラルベク之ガ官制ハ右國務大臣ノ言明ノ存スル以上改メテ之ヲ樞密院ニ御諮詢奏請スルノ意圖ナキ旨答辯アリ

潮委員ヨリ右官制ト特例第七條トハ條文上連絡セシムルヲ可トスベシトシ當局ノ考慮ヲ求ム

鈴木審査委員長以上ヲ以テ質問終了ト認メ本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

（午後五時三十分閉會）

國民學校令等戰時特例外一件第九回審査委員會

昭和十九年一月二十一日(金曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

審査委員長　原議長

審査委員　鈴木副議長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

清水顧問官
南(弘)顧問官
菅原顧問官
松浦顧問官
潮　顧問官
林　顧問官
深井顧問官
二上顧問官
眞野顧問官
三土顧問官

(午前十時五分開會)

鈴木審査委員長開會ヲ宣ス

堀江書記官長ヨリ前回ノ委員會ノ情況ニ察シ森山法制局長官ニ對シ公私立大學戰時措置委員會ト特例案トノ規定上ノ連絡ニ付考究ヲ求

堀江書記官長
諸橋書記官
高辻書記官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

メタル所アリタルガ其ノ後閣議ニ於テ協議ノ結果ハ相當異論アリタルモ假定案トシテ同長官ヨリ別紙提出セラレタル旨報告アリ

林委員ヨリ特例第七條ハ監督官廳ノ獨裁ニ依リ學校ノ生殺與奪ノ權ヲ揮ハシメントスルモノニシテ教育機關ニ對スル權能トシテ甚ダシク當ヲ失スルノミナラズ規定ノ意義範圍明確ヲ缺キ特ニ大學廢止ノ命令ト勅裁トノ關係及法人ニ對スル民法規定トノ關係並ニ學校移轉ノ命令ト所有權ニ關スル憲法規定トノ關係ニ於テ疑問ノ餘地少カラズトシ本條ノ抹消ニ付所見ノ開陳アリ

之ニ對シ討議ノ結果特例第七條ト勅裁トノ關係ニ付テハ命令ヲ爲スニ當リ勅裁ヲ請フベキ旨更ニ訂正ヲ求ムルコトトシ政府ニ於テ同意ノ上ハ大學即法人ハ實際上存在セズ存在スルトスルモ之ニ對シテ本條ノ命令ヲ發セザル旨及文科系ハ之ヲ輕視スルモノニ非ザル旨ノ當局言明並ニ公私立大學戰時措置委員會要綱説明ニ於ケル當局説明ノ要點ヲ併セ報告書ニ記

載スルコトトシ本案ハ此ノ儘之ヲ可決スベキ
旨全會一致ヲ以テ議決ス（一月二十八日右訂正案ノ御下付アリ）
仍テ鈴木審査委員長閉會ヲ宣ス
（午前十一時四十分閉會）

北「サガレン」ニ於ケル日本國ノ石油及石炭利權ノ
移讓ニ關スル議定書締結ノ件外一件審査委員會
昭和十九年三月二十八日（火曜日）午後右兩
件ノ御諮詢アリ之ヨリ先事案ノ緊急ナル
ニ鑑ミ豫メ外務當局ヨリ送付ヲ受ケタル
議案ヲ同日午前中ニ於テ樞密顧問ニ配付
シ翌二十九日（水曜日）ノ定例參集ニ際シ總
委員會開催ノ趣ヲ傳ヘ同日拜謁終了
後議長ヨリ總委員會ノ指定アリ

樞密院

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/